

令和5年度 第3回学校運営支援協議会

日時 令和6年2月26日(月) 16:00～

場所 弥栄小学校 2階 わくわくルーム

次 第

進行：副校長

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 協 議
 - (1) 令和5年度の振り返り
 - (2) 令和6年度学校経営方針について
 - (3) その他
- 5 その他〈連絡事項など〉
- 6 閉会のことば

弥栄小学校運営支援協議会

令和5年度弥栄小学校運営支援協議会名簿

No	氏名	所属・役職等	連絡先	備考
1	佐々木 幸子	[Redacted]	[Redacted]	
2	岩 淵 徳 幸			
3	熊 谷 佳 美			会長
4	千 葉 登 美			
5	金 田 清			
6	菅 原 玉 枝			副会長
7	小野寺 純			
8	栃 内 宏 之	校 長	4 3 - 3 1 2 9	副会長
9	渡 邊 肇	副校長	4 3 - 3 1 2 9	事務局

〈諸活動での弥栄っ子の様子〉

写真

写真

写真

10/2 校内マラソン大会

10/14 いやさか祭り出演

10/21 学習発表会

写真

写真

写真

10/31 世代間交流

11/10 一関地方音楽発表会

12/20 メディア研修会

写真

写真

写真

1/31 校内縄跳び大会

2/2 節分集会

2/16 太鼓引継ぎ式

(1) 令和5年度振り返り

① まなびフェスタアンケート（2学期末に実施）の結果

【児童】

◎：はい、○：どちらかといえばはい、△：どちらかといえばいいえ、▲：いいえ

目標	No.	項目	回答者の割合 (%)				平均	平均 一学期	比較
			◎ (4点)	○ (3点)	△ (2点)	▲ (1点)			
学ぶ子ども	1	学校の勉強が分かりますか。	71	17	9	3	3.6	3.8	↓
	2	弥栄っ子テストの合格に向けてがんばりましたか。	80	20	0	0	3.8	3.7	↑
	3	10×学年の数+10分の家庭学習に、集中して取り組みましたか。	69	29	3	0	3.7	3.4	↑
	4	1週間に合計して、30分以上の家庭読書に取り組みましたか。	60	23	17	0	3.4	3.1	↑
助け合う子ども	5	縦割り班活動で、協力して活動することができましたか。	100	0	0	0	4.0	3.9	↑
	6	弥栄のよさや自慢を見つけることができましたか。	89	9	3	0	3.9	3.8	↑
	7	友達に「ふわっと言葉」を使って話し、優しくしましたか。	80	14	3	3	3.7	3.8	↓
	8	家族と挨拶をしましたか。	86	11	3	0	3.8	3.6	↑
	9	家族の一員（なかま）として、家庭の仕事をしましたか。	57	26	14	3	3.4	3.5	↓
きたえる子ども	10	ねばり強く運動し、目標を達成しましたか。	80	17	3	0	3.8	3.9	↓
	11	「早寝、早起き、朝ご飯」を心がけて生活することができましたか。	54	37	9	0	3.5	3.4	↑
	12	スマホ・タブレット・ゲーム・パソコン・テレビの時間や約束を守って、使いましたか。	51	37	9	3	3.4	3.1	↑

【保護者】

◎：はい、○：どちらかといえばはい、△：どちらかといえばいいえ、▲：いいえ

目標	No.	項目	回答者の割合 (%)				平均	平均 一学期	比較
			◎ (4点)	○ (3点)	△ (2点)	▲ (1点)			
学ぶ子ども	1	お子さんは、毎日、めやすの時間集中して家庭学習に取り組んでいますか。（10分×学年の数+10分）	40	43	14	3	3.2	3.2	=
	2	お子さんは、週30分以上の家庭読書をしていますか。	34	34	23	9	2.9	2.7	↑
助け合う子ども	3	お子さんは、家族で挨拶を交わしていますか。	77	17	6	0	3.7	3.7	=
	4	お子さんは、家族の一員として、家庭の仕事（お手伝い）をしていますか。	51	40	9	0	3.4	3.4	=
きたえる子ども	5	お子さんは、早寝・早起きをし、朝ご飯を食べる生活リズムが習慣化していますか。	60	31	9	0	3.5	3.5	=
	6	お子さんは、スマホ・タブレット・ゲーム・パソコン・テレビ等のメディアの使用時間や家庭での約束を守っていますか。	26	43	29	3	2.9	3.0	↓

【教職員】

A：はい、B：どちらかといえばはい、C：どちらかといえばいいえ、D：いいえ

目標	No.	項目	回答者の割合 (%)				平均	一学期平均	比較
			A (4点)	B (3点)	C (2点)	D (1点)			
学ぶ子ども	1	わかる授業づくりと、基礎・基本の定着に努めます。	71	29	0	0	3.7	3.7	=
	2	ことばの時間、百マス計算、読書活動を充実させ、学習の基盤となる力の向上に努めます。	67	33	0	0	3.7	3.3	↑
	3	家庭学習の充実と習慣化に努めます。	33	50	17	0	3.2	3.3	↓
助け合う子ども	4	すべての児童にとって、いごちのよい学級づくりに努めます。	67	33	0	0	3.7	3.8	↓
	5	自分の役割を自覚し、協力し合う子どもを育てます。	33	67	0	0	3.3	3.5	↓
	6	地域に関わる学習を充実させ、郷土を愛する心を育てます。	67	33	0	0	3.7	3.5	↑
きたえる子ども	7	健康や安全に関する望ましい生活習慣の育成に努めます。	33	67	0	0	3.3	3.2	↑
	8	目標に向かって、粘り強く体力づくりに励む子どもを育てます。	67	17	17	0	3.5	3.7	↓
	9	食育指導の充実を図り、食への関心を高めます。	17	83	0	0	3.2	3.0	↑

ア. アンケート結果から

○ほとんどの項目について肯定的な回答（◎や○、AやB）の割合が80%を超えており、数値目標が達成されている。

○週末に学校の図書室から借りた本を持ち帰る取組等をとおして、2学期の課題とした「家庭読書」については向上が見られた。しかし、保護者アンケートの結果では、肯定的な回答の割合が80%を超えておらず、取組の継続が必要である。

▲「メディアの使用時間や家庭での約束を守ること」については、保護者アンケートの結果に向上が見られなかった。肯定的な回答の割合も80%を超えていない。

※第2回学校運営支援協議会での協議を受けて実現したメディア研修会は、上記のアンケート後に実施

イ. 2学期の様子やアンケートの結果について各部会で協議したこと

※R6.1.11実施

部会名		知 育
2学期の取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭読書に取り組む児童数が増加した →週末の本の持ち帰りの成果 ・家庭学習について、児童の評価が上がっているのに比べて、保護者の評価は下がっている。また、教師の評価もそこまで高くない
今後の方策	重点	○学年の発達段階に応じた家庭学習習慣の形成
	改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・一人勉強リレーノートの掲示 ・まなびフェスタアンケートの保護者と児童の評価規準にズレが生じないように働きかける ・家庭学習の取組ませ方を再確認する →取り組んだ時刻や振り返りを記入

部会名		徳 育
2学期の取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶について児童会で取り組みを行い、全校の意識が高まった ・場面に応じた挨拶までには至っていない ・教室移動の際に、並んで移動しているが、まだ話をする時がある
今後の方策	重点	挨拶、教室移動の取組の継続
	改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の取組のよさを認め奨励する評価を行う ・児童に自己評価をさせるときには、評価規準を明示するようにする

部会名		体 育
2学期の取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・生活チェックシートを活用して「健康ポイント制」の取組にした ・60プラスプロジェクトが、その時期の意識づけに役立った
今後の方策	重点	生活リズムの確立と運動への意欲付け
	改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康ポイント」について、月毎にポイント確認をする ・児童個々が設定する目標値のばらつきが気になるので、ある程度統一させたい ・朝運動のサーキットコースの配慮 ・生活の振り返りに、自分のしっかりとした反省をだせるようにする ・学校として推奨するメディア利用に関する数値を提示 (～時間以内、～時まで 等)

② 経営反省を受けて令和6年度課題として確認したこと

ア. 知育に関わって

- ・児童自身が学びを進める力の向上
- ・授業のユニバーサルデザインに関する共通確認と実践
- ・ICTの積極的な活用
- ・発達段階に応じた学ぶ力の育成と家庭での学習習慣の形成

イ. 徳育に関わって

- ・特別活動等に対する主体性の伸長
- ・相手意識の向上
(相手の気持ちを理解しようとする、相手のことを考えて話す など)
- ・フォロワーシップの育成

ウ. 体育に関わって

- ・体力向上に対して意識が低い児童への支援

エ. その他

- ・諸行事、諸活動等のねらいの再確認と、ねらいに基づいた取組の改善

③ 第2回学校運営支援協議会でいただいたご意見より

ア. 弥栄の子供たちに望む姿

- ・思いやり、人を大切にする気持ちをそのまま伸ばして行って欲しい
- ・多様性を認めることができる人に
- ・他の人へのリスペクト
- ・大きな集団の中でも、やっていけるように
- ・他の人と協力できる人に
- ・小学校を卒業後も、地域の中で挨拶を継続

イ. 弥栄の子供たちにつけたい力

- ・メディアとの上手な付き合い方

ウ. その他

- ・何かに取り組む際には、「何のために」を理解させることを大切に

(2) 令和6年度学校経営方針について

I 学校経営方針

1 学校経営の基本的な考え方

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、関係諸法令の理念に基づくとともに、県学校教育指導指針、市学校教育方針、復興教育の目的を踏まえた教育活動の推進に努める。

【岩手県が目指すところ】

○県教育振興計画 基本目標

「学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり」

○学校教育で目指す姿

「岩手の子どもたちが、自分らしくいきいきと学び、夢を育み、予測困難な時代においても、希望あるいわてを創造する『生きる力』を身に付けている」

○いわての復興教育の定義

郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（いきる・かかわる・そなえる）を育てること。

【一関市が目指すところ】

○教育振興の基本目標

「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」

○一関市学校教育 基本方針

- ・児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。
- ・たくましく心豊かに生きる児童・生徒を育成する。
- ・社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。

- (2) 本校の歴史や伝統、地域の実態を考慮しながら創意工夫を図り、自立した社会人として生きていく力の育成に努める。

- (3) 地域住民の信託に応え、家庭・地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。

2 学校教育目標

『 進んで学び 心豊かで たくましい子どもの育成 』

【具体目標と児童の具体像（目指す姿）】

○学ぶ子ども（知）

- ・自ら学び考える子
- ・確かな学力を身に付けた子
- ・豊かに表現できる子

○助け合う子ども（徳）

- ・思いやりのある子
- ・明るい挨拶や返事をする子
- ・誰とでも協力する子

○きたえる子ども（体）

- ・自分の身を守ることのできる子
- ・健康的な生活をする子
- ・最後までやり抜く子

3 目指す教師像（「^{きょうがくなかば}教学半（教うるは学ぶの半ばなり）」の心で）

- (1) 児童一人ひとりを大切にし、よさや可能性の伸長に尽力する教師
- (2) 向上心をもって相互に磨き合い、協働して課題を解決する教師
- (3) 保護者・地域の声に真摯に耳を傾け、信頼に応える教師

4 目指す学校像（一人ひとりに「居場所」があり、「絆」が育まれる場所として）

- (1) 学ぶ喜び、ふれ合う喜びのある楽しい学校
- (2) 安心・安全な学校
- (3) 家庭や地域から信頼される学校

5 経営方針

～生きる土台となる「自己肯定感」「自己有用感」を6年間をとおして育み高める～

- (1) 児童の発達特性や実態に即した指導目標の設定と、P（計画・目標設定）→D（実践）→C（評価・反省）→A（改善）の効果的なサイクルにより不断の向上に努める。
- (2) 共通認識をもちながら共通実践を行う組織体として教育活動を推進する。

(3) 家庭・地域との連携・協働により教育活動の充実を図る。

6 経営の重点

- (1) 「生きる力」の育成を目指した学級経営の充実
 - ・各学年の発達段階に応じた学校教育目標の実践化・具現化
 - ・社会で生きていくのに必要な規範意識の醸成とソーシャルスキルの習得
 - ・活躍の場を保障し課題の改善を図る、一人ひとりに寄り添った支援の実現
- (2) 確かな学力の育成
 - ・個別最適な学習と協働的な学習の一体的な充実を目指した授業改善
 - ・複式指導を見据えた自ら学びを進める力と主体的な態度の向上
 - ・「わかる授業」に考慮した学習環境の整備（ユニバーサルデザイン）
 - ・発達段階を考慮した家庭学習の内容の充実と習慣化
- (3) 豊かな人間性の育成
 - ・異年齢による交流活動の意図的な実施による社会性の育成
 - ・地域の教育資源を活用した体験活動のねらいに基づいた推進
 - ・主体的・実践的な力を育む特別活動の推進
 - ・自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性の養成
- (4) たくましい心身の育成
 - ・個に応じた運動習慣の形成と体力の向上を図る取組の充実
 - ・健康に関する課題解決に向けた健康教育（保健指導・食に関する指導）の充実
 - ・「命を守る力」を育む安全教育の充実と安全管理の徹底
- (5) 家庭や地域との連携
 - ・基本的な生活習慣の形成（挨拶、早寝、早起き、朝ご飯、適切なメディア利用）
 - ・必要な情報の共有を図るための家庭や地域への積極的な情報発信
 - ・PTA活動、学校運営支援協議会活動の充実
- (6) 連携・協働して職務を遂行する職員集団の育成
 - ・報告・連絡・相談の徹底と情報の共有化
 - ・教職員としてのコンプライアンス意識の保持と高揚に係る相互啓発を促す取組の実施
 - ・働き方改革の推進

7 月別重点

月	重点	月	重点
4	集団と学びの基盤づくり	10	協調性の伸長と表現力の向上
5	集団行動様式の定着と責任感・連帯感の涵養	11	個に応じた確かな学力の育成と自己実現への支援
6	学習指導の充実化と目標達成に向けた支援	12	2学期のまとめと冬季休業の指導
7	1学期のまとめと夏季休業の指導	1	取組の評価と3学期・新年度の方策の検討
8	取組の評価と2学期の方策の検討	2	進級・進学に向けた支援と次年度計画作成
9	たくましい心身の育成と主体的取組への支援	3	1年間のまとめと引継ぎの確実な実施



【県教育振興計画 基本目標】

学びと絆で 夢と未来を拓き
社会を創造する人づくり

【市教育振興 基本目標】

学びの風土を礎に 心豊かに
たくましく 郷土の誇りを未
来につなぐ 一関の人づくり

学校教育目標
進んで学び 心豊かで
たくましい子どもの育成

目指す児童像

学ぶ子ども (知)

- ・自ら学び考える子
- ・確かな学力を身に付けた子
- ・豊かに表現できる子

助け合う子ども (徳)

- ・思いやりのある子
- ・明るい挨拶や返事をする子
- ・誰とでも協力する子

きたえる子ども (体)

- ・自分の身を守ることでできる子
- ・健康的な生活をする子
- ・最後までやり抜く子

「絆」「居場所」

目指す学校像

- 学ぶ喜び、ふれ合う喜びのある楽しい学校
- 安心・安全な学校
- 家庭や地域から信頼される学校

「教学半」

目指す教師像

- 児童一人ひとりを大切にし、よさや可能性の伸長に尽力する教師
- 向上心をもって相互に磨き合い、協働して課題を解決する教師
- 保護者・地域の声に真摯に耳を傾け、信頼に応える教師

今年度重点

確かな学力の育成

- ・個別最適な学習と協働的な学習の一体的な充実
- ・自ら学習を進める力と主体的な態度の向上
- ・「わかる授業」を考慮した学習環境の整備(ユニバーサルデザイン)
- ・発達段階を考慮した家庭学習の内容の充実と習慣化

豊かな人間性の育成

- ・交流活動の意図的な実施による社会性の育成
- ・地域の教育資源を活用した体験活動のねらいに基づいた推進
- ・主体的・実践的な力を育む特別活動の推進
- ・他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性の養成

たくましい心身の育成

- ・個に応じた運動習慣の形成と体力の向上を図る取組の充実
- ・健康に関する課題解決に向けた健康教育の充実
- ・「命を守る力」を育む安全教育の充実と安全管理の徹底

「生きる力」の育成を目指した学級経営の充実

- ・各学年の発達段階に応じた学校教育目標の実践化・具現化
- ・社会に必要な規範意識の醸成とソーシャルスキルの習得
- ・一人ひとりに寄り添った支援の実現

6年間を通して
育み 高める
「自己肯定感」
「自己有用感」



連携・協働して職務を遂行する職員集団の育成

- ・報告・連絡・相談の徹底と情報の共有化
- ・コンプライアンス意識の保持と高揚に係る相互啓発の促進
- ・働き方改革の推進

「まなびフェスト」数値目標達成に向けた取組

家庭や地域との連携

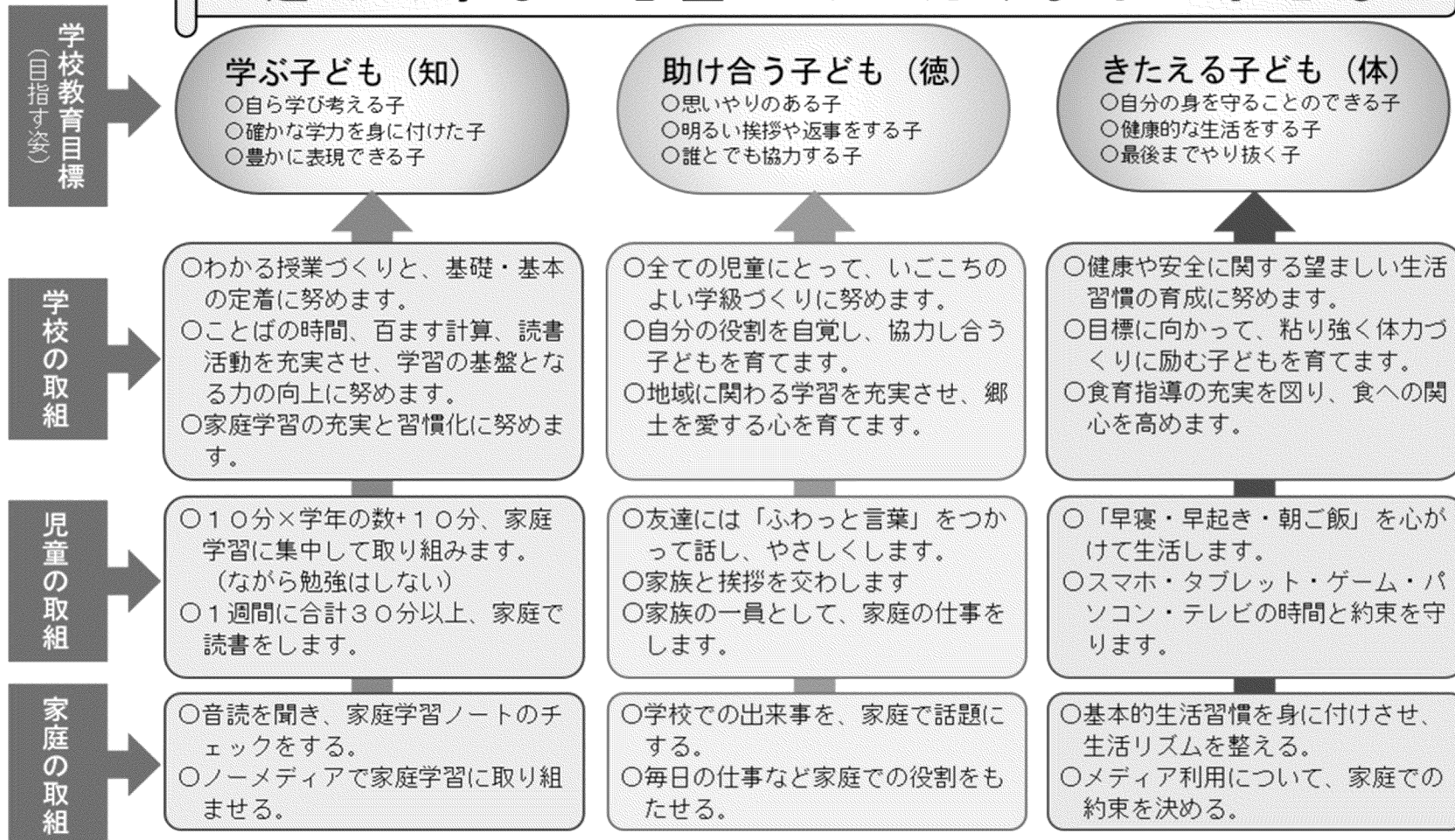
- ・基本的な生活習慣の形成(挨拶、早寝、早起き、朝ご飯、適切なメディア利用)
- ・必要な情報の共有を図るための積極的な情報発信
- ・PTA活動、学校運営支援協議会活動の充実

保護者(P T A活動)・地域(学校運営支援協議会)

Ⅱ 令和6年度 一関市立弥栄小学校 まなびフェスト



進んで学び 心豊かで たくましい子ども



【地域にお願いすること】
 1. 地域学習や学習ボランティアへの協力 2. 子どもたちの見守り 3. 地域行事への参加の呼びかけ

令和6年度 まなびフェストの評価

目標	取組	評価方法	目標値	担当	
学ぶ子ども(知)	学校	わかる授業づくりと、基礎・基本の定着に努めます	児童自己評価 「学校の勉強が分かる」 「弥栄っ子テスト合格に向けてがんばった」 テスト ※弥栄っ子テスト(漢字・算数)	肯定的回答 80% ----- 80点以上 100%	知育部会(教務主任・研究主任)
		ことばの時間、百ます計算、読書活動を充実させ、学習の基盤となる力の向上に努めます	教職員自己評価 目標値(読書冊数)の設定 ※図書館教育担当の提案による	肯定的回答 100% ----- 達成割合 100%	
		家庭学習の充実と習慣化に努めます	教職員自己評価	肯定的回答 80%	
	児童	10分×学年の数+10分、家庭学習に集中して取り組みます	点検(3週間) 保護者評価	達成割合 80% ----- 肯定的回答 80%	
		1週間に合計30分以上、家庭で読書を行います	点検(3週間) 保護者評価	達成割合 80% ----- 肯定的回答 80%	
助け合う子ども(徳)	学校	全ての児童にとって、いごちのよい学級づくりに努めます	QU 教職員自己評価	肯定的回答 90%	徳育部会(生徒指導主事・特別支援CO)
		自分の役割を自覚し、協力し合う子どもを育てます	教職員自己評価 児童自己評価 「たてわり班活動で、協力できた」	肯定的回答 90%	
		地域に関わる学習を充実させ、郷土を愛する心を育てます	教職員自己評価 児童自己評価 「弥栄のよさやじまんを見つけた」	肯定的回答 90%	
	児童	友達には「ふわっと言葉」をつかって話し、やさしくします。	児童自己評価	肯定的回答 80%	
		家族と挨拶を交わします	児童自己評価 保護者評価	肯定的回答 80%	
		家族の一員として、家庭の仕事をします	保護者評価	肯定的回答 80%	
きたえる子ども(体)	学校	健康や安全に関する望ましい生活習慣の育成に努めます	教職員自己評価	肯定的回答 80%	体育部会(保健主事・体力向上)
		目標に向かって、粘り強く体力づくりに励む子どもを育てます	教職員自己評価 児童自己評価 「ねばり強く運動し、目標を達成した」	肯定的回答 80%	
		食育指導の充実を図り、食への関心を高めます	教職員自己評価	肯定的回答 80%	
	児童	「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけて生活します	点検(1週間) 児童自己評価 保護者評価	達成割合 80% ----- 肯定的回答 80%	
		スマホ・タブレット・ゲーム・パソコン・テレビの時間と約束を守ります	点検(1週間) 児童自己評価 保護者評価	達成割合 80% ----- 肯定的回答 80%	

「学校評価」の実施について

1. 学校評価の目的

(1) 学校運営に関する目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価し改善を図るサイクルをとおして、学校運営の組織的・継続的な改善を図る。

(学校運営の組織的・継続的改善)

(2) 自己評価及び学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

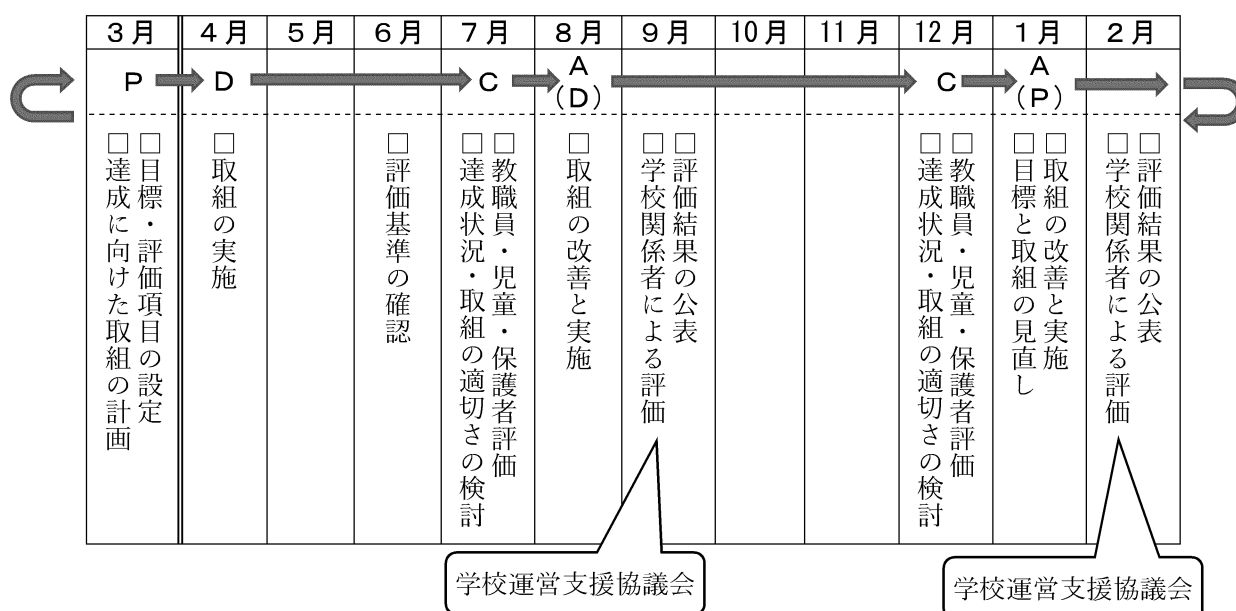
(説明責任の履行、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりの推進)

2. 実施内容

(1) 教職員・児童による自己評価・保護者評価とその結果の公表

(2) 学校の関係者による評価（「学校関係者評価」）

3. 評価サイクル



4. 推進上の留意点

(1) 「まなびフェスト」に係る児童・保護者の評価については、目標等の達成状況や取組の適切さ等について評価を行う際の資料と捉え活用する。

(2) 達成状況、取組の適切さ、改善に向けた方策について担当が協議すると共に、共通理解を図るために全体に提案する機会を設定する。

※部会（知育・徳育・体育）→経営反省会（職員会議）

部会	知育部会	徳学部会	体育部会
構成員	教務主任 研究主任 (校長)	生徒指導主事 特別支援コーディネーター 特別支援学級担任	保健主事 体力向上担当 (副校長)

(3) 教職員・児童・保護者評価の結果と部会及び職員会議での協議結果を「自己評価」として公表するとともに、学校運営支援協議会の際に提示し評価していただく。(学校関係者評価)

(3) その他

①令和6年度学校運営支援協議会に関わって

ア. 委員について

- ・一関市学校運営支援協議会規則では、委員は協議会ごとに15人以内とされている（第5条）

イ. 地域コーディネーターについて

- ・一関市まちづくり推進部いきがづくり課より、令和6年度から7年度にかけて全地域での実施を予定しているとの説明有

【職務内容等】

- ・学校側のニーズの把握
- ・ボランティアの募集、手配
- ・ボランティア活動の準備、片付け、活動日誌作成

【従事形態・謝金等】

- ・地域コーディネーターの身分は、有償ボランティアとなり、市の職員としての任用ではない
- ・任期は、4月1日から翌年2月末日とし、委嘱状を交付
- ・従事日数等は、学校と協議の上決定するが、上限の目安は、小学校週2日程度とし、1日当たり平均4時間とする
- ・従事した時間に対し、謝金が支払われる
(1時間あたり900円程度 ※R5. 4. 1現在)

ウ. 令和5年度委員の皆様へのお願い

- ・令和6年度も引き続き、委員の再任をお願いいたします
- ・委員および地域コーディネーターについて適任者のご推薦がある場合は、事務局（副校長）までご連絡いただきたい
※地域コーディネーターの配置は、市の予算配当によるとのこと